

議会だより

3月定例会

No.15

平成21年5月1日

発行 石川県志賀町議会

しか

ページ

地域防災の拠点づくりを推進

2

志賀原発1号機 運転再開を了承

10

町の借入金 返済計画は (一般質問)

11

目標は常に日本一 (富来ユニホッククラブ)

20



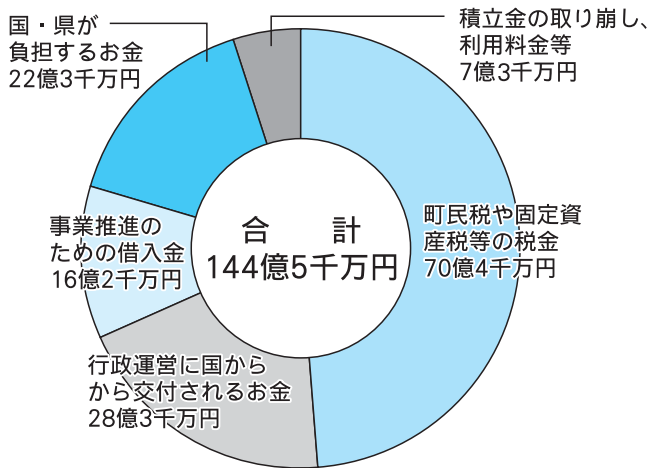
郷土の名産 いがらまんじゅうづくりに挑戦 (児童館)

賛成16、反対1

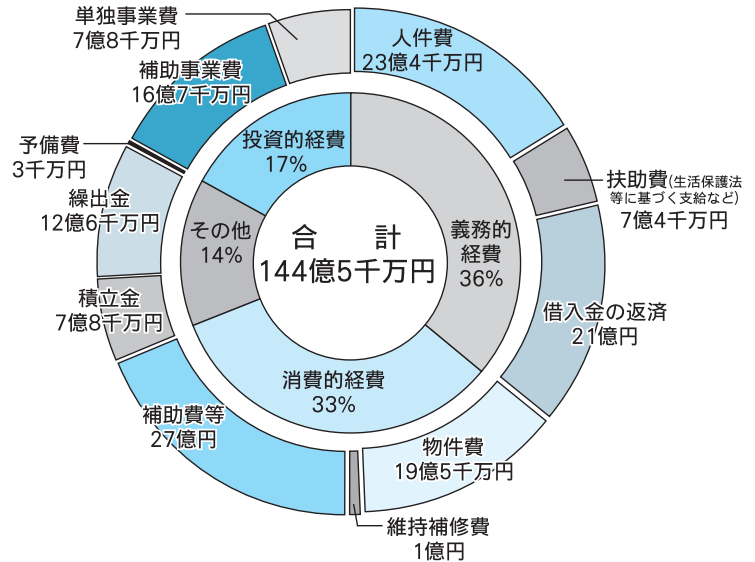
新年度予算 一般会計 144億円

町税で前年度比5億4千万円の**減**
総額では2億3千万円増の**積極型**予算

一般会計の財源(歳入)



一般会計の使いみち(歳出)



町の主な事業を行う一般会計は、総額で144億5千万円、対前年比2億3千万円、伸率で1・6%の増となりました。

財源では、北陸電力関連の固定資産税は、20年度から3億9千万円の減となる39億3千万円を見込み、町税の総額で前年度比5億4千万円減の70億4千万円を計上。

旧志賀町分の普通交付税は21年度も不交付になりますが、地方交付税総額として、昨年度とほぼ同額の約23億円を見込んでいます。

固定資産税および経済不況を反映した税収の減が見込まれる中で、景気対策や様々な住民ニーズに 대응していくため、事業費は積極型予算となっています。

経常経費は原則10%カット

一方で、新規職員の採用抑制による大幅な人員削減、超過勤務手当などの抑制による人件費の削減、また、事務経費や補助金の見直しにも着手し、経常経費は、原則10%カットとしています。

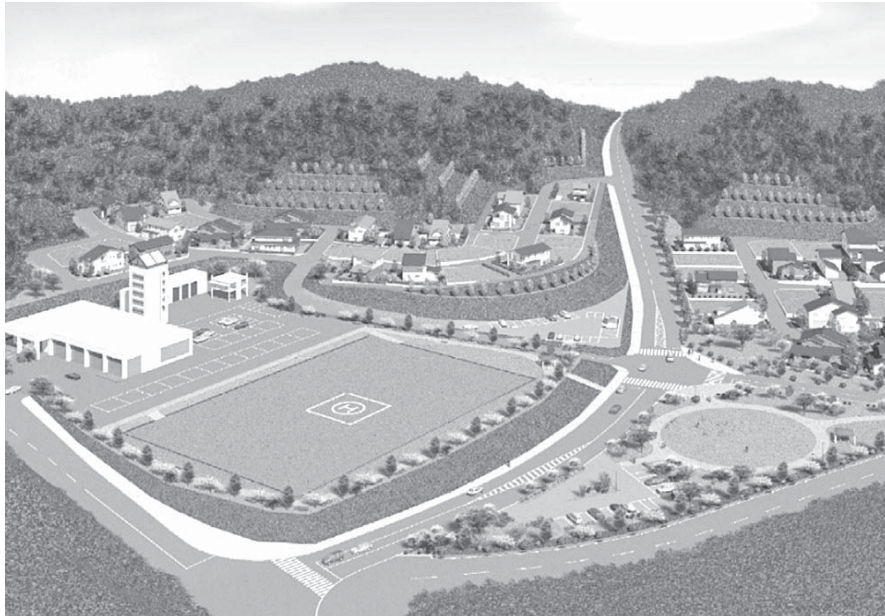
特別会計・事業会計含む

予算総額

254億3千万円

対前年比 ▲5.9%

特別会計・事業会計を合わせた予算総額は、254億3千万円余りとなり、対前年度比マイナス5・9%の減額です。



西山台ニュータウンのイメージパース。今年度は志賀消防署などの建設にとりかかる。

志賀消防署、地域交流センター、防災備蓄倉庫など

地域防災の

拠点づくりを推進

まちづくり交付金事業

15億2800万円

(面整備、定住促進住宅地造成、防災拠点施設整備、地域交流センター建設)

志賀消防署庁舎建設受託事業

1億9600万円

完売状況となった西山台ニュータウン第1工区の面整備を進め、第2工区34区画の造成工事着手。

造成中の防災公園内では、郡市広域圏事務組合から受託する志賀消防署の建設。合わせて複合施

設としての地域交流センター、防災備蓄倉庫、消防訓練場を兼ねた多目的広場の整備など地域防災の拠点づくりを進めます。

また、利便性を向上させるために道路整備や下水道整備事業、農林水産業基盤施設などの社会資本整備も行います。ソフト面では、子育て支援や福祉施策の充実、雇用対策などを図り、住民生活に直結する施策を展開します。

(▲減)

平成21年度 歳出分		予算額	前年度増減額	増減率	採決の状況
一般会計		144億5000万円	2億3000万円	1.6%	賛成16、反対1
特別会計	国民健康保険	28億2366万円	▲7924万円	▲2.7%	全員賛成
	老人保健	889万円	▲2億6991万円	▲96.8%	全員賛成
	後期高齢者医療	3億674万円	553万円	1.8%	全員賛成
	農業集落排水事業	8億2988万円	9715万円	13.3%	全員賛成
	公共下水道事業	14億3408万円	▲4億458万円	▲22.0%	全員賛成
	地域し尿処理施設整備事業	5032万円	▲41万円	▲0.8%	全員賛成
	簡易水道事業	1828万円	▲609万円	▲25.0%	全員賛成
	介護保険	24億1139万円	61万円	0.0%	全員賛成
	診療所事業	1億4209万円	217万円	1.6%	全員賛成
ケーブルテレビ事業	2億5296万円	▲11億91万円	▲81.3%	全員賛成	
企業会計	水道事業	13億1965万円	▲2056万円	▲1.5%	全員賛成
	富来病院事業	13億8514万円	▲5713万円	▲4.0%	全員賛成

(金額は1万円未満切り捨て)

クローズアップ

新年度予算一般会計

144億円の使い方



少子化対策・子育て支援

チャイルドシートの購入助成、第3子以上の子が小・中・高校入学時に祝い金10万円を支給、義務教育終了まで医療費を全額負担します。

予算額合計 7,406万円

一般会計の主な事業

ハード事業

加茂ライスセンター大麦乾燥施設改修事業	2,000万円
領家漁港整備事業	1億540万円
まちづくり交付金事業 (面整備、定住促進住宅地造成、防災拠点施設整備、地域交流センター建設など)	15億2,800万円
志賀消防署庁舎建設受託事業	1億9,600万円

ソフト事業

第3セクター等改革推進事業	350万円
乳幼児・児童医療費助成事業	5,439万円
チャイルドシート支援事業	330万円
少子化対策事業	1,250万円
次世代育成助成事業	387万円
障害者自立支援給付事業	2億7,812万円
健康増進事業(がん検診等)	3,769万円
商工業活性化事業	630万円
企業誘致対策経費	1億4,511万円
定住促進住まいづくり奨励金事業	150万円
文化振興特別事業(志賀を描く美術展、全国子ども版画コンクール補助等)	750万円



統合小学校建設

志賀地域の7小学校を1校に統合し、平成25年度開校をめざして、調査費、基金積立(21~25年度)の予算を計上。

予算額 1億905万円



志賀高校教育振興

魅力ある学校づくりに対する協力、学校振興に資する助成など。

予算額 150万円

どう生かす 大切なお金

予算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会（林一夫委員長、田中正文副委員長）を設置し、審議しました。

一般会計

問 志賀消防署の建設は郡市広域圏事務組合の負担金の実質ゼロ。他の自治体の場合でもそうか。

答 3割の負担を要望してきたが、羽咋市、宝達志水町も財源が厳しい。建物の大きさ、設備等にいろいろと条件がでてきた。防災拠点整備の観点で町が一括で負担し、合併特例債を事業費に充てようと決断した。



志賀消防署建設予定地



問 地籍調査事業の予算費が昨年度より1千万円少ない。町民の財産や地目などをはつきりさせるために予算を付けるべきだ。

答 国・県で75%の補助事業なので、町単費で行うわけにもいかない。要望したが、県も財政が厳しい。

問 予算を打つても速やかに進めるべきだ。

答 志賀地域の土田・下甘田地区が終了すれば、集中的に富来地域に入ることが出来る。

問 道路修繕などの維持管理費は予算が少ないのではないか。区道整備も合併前と変わらない。

答 前年度並みの計上。側溝、枝打ち、草刈は増額している。区道整備は要望のあった地区を計上している。

問 町には富来病院があり、地域医療の中で苦勞しながら経営している。広域圏への羽咋病院の負担金は必要か。

答 旧の4町の時代は富来町が入っていない。旧志賀町は広域事業でやってきた。羽咋市は80%、他の町は10%。やむを得ないと思っている。



宮谷富来病院長とスタッフ



問 修繕の必要な防火水槽はかなりある。できるだけ早く整備すべきだ。

答 有蓋化は地区から大変要望がある。30年以上あり、このままでは10年以上かかる。要求しているが財政が厳しい。

特別・事業

問 国保・老保・後期高齢者特別会計で滞納は。

答 1億5千万円くらい。

問 支払う能力のある人もかなりいると思う。

答 悪質な人はきちんと呼び出しを行う。

問 公共下水道、農業集落排水、地域し尿の3会計で、借入が110億を超える。今後ピークはいつ来るのか。

答 現在、事業がピーク時に達している。計画、工期をどのように進めていくか相談しながら対応したい。



問 介護保険料を据え置きたいとの気持ちで介護認定に影響がないように。

答 厚生労働省のマニュアルに従って適正にやっていく。

問 ケーブルテレビは、加入者をどの程度集めれば事業としてやっていけるのか。

答 試算していない。昨年10月の開局で努力段階。有料番組の加入者増を進めたい。

平成25年度の開校をめざし



志賀地域の小学校統合に伴う
基金を積み立て

ワクワクドキドキ新1年生。元気よく返事ができました。(加茂小学校)

3月定例会は、3月2日から17日まで16日間の会期で開かれました。

町長から提案された一般会計144億5千万円、10特別会計および水道会計、富来病院会計を含めた総額254億円余りとなる21年度各会計予算案のほか、条例の制定や改正、補正予算などの63議案を審議し、21年度一般会計予算、請負契約の締結で地域交流センター整備事業(建築工事)の2案は賛成多数で、その他の案件はいずれも全会一致で可決しました。

町立小学校施設
整備基金条例

平成21年度から志賀地域の小学校統合に伴う経費に充当するための基金条例を制定しました。

志賀地域の小学校の統合問題については、昨今の児童数の推移や教育水準の維持・向上などの教育環境を考え、1校にすることが望ましいと判断しました。

(全員賛成)

町職員の勤務
時間15分短く

民間の労働時間は公務員の勤務時間より1日15分程度短い水準で安定しています。人事院では職員の勤務時間は民間と均衡させるべきものとの報告により、町職員の勤務時間を現行の1日8時間から7時間45分に改正します。

(全員賛成)

平成22年度課税分から
町民税・固定資産税
前納報奨金を廃止

町民税の特別徴収は、給料および年金からの天引きで前納報奨金制度が適用されず、不公平感があることや、賦課徴収経費(報奨金)の削減が図られることから、平成22年度課税分から廃止されます。

(全員賛成)

介護保険料の
上昇を抑制

介護従事者処遇改善
臨時特例基金条例

介護従事者の処遇改善のために行われる介護報酬改定に伴う平成21年と22年の介護保険料の上昇分を抑制するために必要な経費が、国から特例交付金として交付されることになりました。

交付金は基金を作り積み立てて、所要額を介護保険特別会計へ繰り入れて介護給付費に充当します。

(全員賛成)

平成20年度一般会計 補正予算

3,032 万円増額

緊急経済活性化事業などを計上

20年度一般会計補正予算は、事業の確定、精算見込みに伴う更生および景気対策を主とする国の第2次補正予算に係る事業の追加によるものです。

財政調整基金や特別財政基金を積み立てる一方で、国の補正予算関連で介護従事者処遇改善臨時特例基金の積立、緊急経済活性化対策事業などを計上しました。

(全員賛成)

◆請負契約締結

地域交流センター整備事業（建築工事）

西山台ニュータウンに隣接した防災公園に、地域交流センター（鉄筋コンクリート2階建）および志賀消防署（鉄筋コンクリート平屋建）の建築工事を行うもの。南建設㈱。3億5070万円。

（賛成16、反対1）

まちづくり交付金事業訓練棟建設工事

防災公園で、鉄筋コンクリート6階建て及び鉄骨2階建ての消防訓練棟を建設するもの。寺井・石田経常建設工事共同企業体。6772万円。（全員賛成）

町道第8001号鹿頭酒見線道路整備工事（1工区）

小窪地内で延長620m、幅員8.5mの道路改良工事を行うもの。石田工業㈱。5292万円。（全員賛成）

◆請負契約変更

公共下水道事業富来浄化センター場内整備工事

浄化センター内ののり面に風雨による侵食防止、景観への配慮のための張芝を増工。196万円を増額。契約金額4571万円。（株）西田組（全員賛成）

町立富来小学校体育館改築工事

発注時以後の急激な資材高騰により、※単品スライド条項の適用により、請負代金を534万円を増額。契約金額2億3791万円。南建設㈱（全員賛成）

※単品スライド条項とは、工事請負契約に基づき資材価格の変動に応じて請負代金の変更を請求できる措置。

20年度各会計別補正後の総額

一般会計	153億7,882万円	
国民健康保険	28億2,651万円	
老人保健	3億6,568万円	
後期高齢者医療	3億120万円	
農業集落排水	7億1,571万円	
公共下水道	17億9,822万円	
地域し尿処理	4,816万円	
介護保険	25億557万円	
ケーブルテレビ	13億2,498万円	
町立診療所	1億6,364万円	
簡易水道	2,572万円	
水道	収益的収支	6億3,880万円
	資本的収支	6億2,425万円
病院	収益的収支	12億8,632万円
	資本的収支	1億6,834万円

(金額は1万円未満切り捨て)

討論

賛成します



小田 芳治 議員

全提出議案に賛成する。今定例会の議案は、21年度予算案を中心に20年度の補正予算や指定管理者の指定に伴う条例改正が主なものであり、原案どおり承認する。

今後、大幅な税収減に加え、現在の急激な景気の悪化は、当面続くものと予想され、町財政を取り巻く状況は厳しさを増す。集中改革プランの着実な実施により、行財政改革を推し進め、将来にわたる持続可能な財政運営を念頭に、町政の執行あたることを希望する。



町職員の勤務時間が15分短くなっても、住民に不便が生じないように望む。(写真は役場総合窓口)

総務

委員長 田中 正文
副委員長 松浦 恒義
委員 越後 敏明
// 寺岡 真貴子
// 櫻井 俊一
// 山本 辰榮

議会の3つの常任委員会では、付託された議案等の審査や所管する事項の諸問題について調査を行っています。3月定例会開会中の主な審議内容等を報告します。

町職員の勤務時間短縮 住民に不便が生じるのでは

問 人事院の勧告で町職員の勤務時間が15分短くなる。住民に不便が生じるのではないか。

答 時差出勤等でまかなうことも検討して支障のないように対応したい。

問 住民への周知も徹底したい。

答 ケーブルテレビの運営委託は、競合する会社はたくさんあるのか。

問 番組を金沢ケーブルテレビネットワークから配信している。維持管理に関しては一者にせざるを得ない。

問 今回補正で1億4千万円の基金の積立。今後、工事関係の入札による不要額もでると思うがどの程度か。

答 専決補正を想定するならば、約1億近くの剰余金が発生している。昨年、一昨年は財政調整基金と特別財政基金に積み立てている。

図書館の利用時間 延長できないか

教育民生

委員長 橘 照茂
副委員長 下池外 巳造
委員 須磨 隆正
// 林 一夫
// 戸坂 忠寸計
// 稲村 幸雄



住民から利用時間延長の要望のある町立図書館

問 図書館の利用時間で住民から不満を聞く。仕事が終わる頃には閉館している。延長できないか。月曜日の休館日と祝日が重なる日も何回かある。

答 一週間で40時間と労働時間が決まっている。その振替で一斉に休むとして休館日としている。祝日と重なった場合は、翌火曜日に休館して開ける場合がある。現在の人員では、時間延長は考えていない。

望 朝早くからの利用者は少ない。開館時間を遅くすればいいのではないか。検討してほしい。

問 健康増進事業の受診率を上げる対策を考えているのか。

答 20年度は受診率が31%。21年度は集団検診を受けてほしい。どうしても来られない方は医者に行っても良かったが、経費がかかる。そうはいってはいられない状態。今後、検討しなければいけない。



町内でも急増する耕作放棄地。高齢化による規模縮小も大きな要因。

委員長 富澤 軒康
副委員長 南 政夫
委員 小田 芳治
// 辻 武美
// 久木 拓栄
// 木村 正男

産業建設

生産調整を達成できない 集落の現状は

問 農業費の生産調整推進対策費で250万円の減額。生産調整を達成できない集落の現状は。

答 転作をしている集落が、保全管理で草を刈り、すぐに田に利用できない状態なら補助金を出すが、耕作放棄地になつて

いた。
昨年から調査しているが減額せざるを得なかった。

問 耕作放棄地について、どのような対策を考えているのか。

答 荒れているところは、山の中とか湿田地帯。高齢化が進み、そこまで手が回らないのが現状。町としては農協を通じて解消のお願いと補助金のPRをしている。

問 新聞にプレミア商品の増額が、15%と出ていたが。

答 町の事業としては10%。商工会も5%の上乗せを検討中。

永年在職議員を表彰



桜井 俊一議員（左）と林 一夫議員

第1回定例会の初日に、議員表彰条例に基づき、議場において、永年在職議員の表彰式を行いました。
表彰されたのは左記の2名です。

■表彰受賞者

◇10年表彰

林 一夫 議員
桜井 俊一 議員

第1回臨時会 (2月6日)

第1回臨時会では、平成20年度一般会計補正予算、工事請負契約の締結2件の議案3件が審議され、いずれも全会一致で可決しました。

補正予算

平成20年度一般会計補正予算(第3号)

国の補正予算の成立に伴い緊急経済対策事業として措置された事業に係る予算措置を行うもの。
5億5687万円増額。
総額153億4850万円。

請負契約の締結

志賀町定住促進住宅地造成事業(拠点公園及び緑道工事)

契約金額7103万円。
大和建设㈱。

旧志賀中学校解体撤去工事

契約金額2982万円。
西村建設㈱

承了再開運転

3月24日

志賀原発1号機の再起動 安全・安心を大前提に

信頼回復の取り組みを評価



臨界事故隠れいが発覚し、平成19年3月から運転を停止中の志賀原発1号機について、3月19日、北陸電力から県・町に対し、運転再開の申し入れがありました。当議会では3月24日、全員協議会を開催し、北陸電力から、起動協議の申し入れ、特別な定期検査の受検状況、再発防止対策の実施状況について、国からは保安検査結果、耐震安全性について報告を求めました。

説明の後、1号機運転再開の是非について、議員一人ひとりが意見を述べました。議員からは「信頼回復の

取り組みは評価する」「機は熟した」との容認する意見や、「常に緊張感を持ち、ヒューマンエラーを無くすることが大事」「初心に帰り努力を」などの意見、要望もありましたが、運転に反対する意見はありませんでした。

北陸電力の再発防止策、耐震安全性への取組を評価して、運転再開については全員が了承し、細川町長に伝えました。

今後、徹底した安全管理をすることが絶対的前提であり、何より住民の不安のないように運転を望みます。

借入金の返済計画は

無理のない償還計画を予定 町長



橘 照茂 議員

橘 20年度末の町の借入金残高見込は約363億円。単年度で15億円増加。今後の返済計画と事業見通しは。

町長 合併特例債は、合併後10年間と期限が限定され、合併初期段階に事業が集中し、残高が増える状態になる。

一時的に増えても、財政に余裕があるうちに繰上償還の実施や低利な市中金融機関の縁故債の活用で、後年度の償還に対応できるように最善の選択をしている。

償還期間が事業ごとに決められており、据え置き期間を利用して、無理のない償還計画を予定。大幅な事業計画の見直しは予定していない。

統合小学校 子供達への効果は 学習環境をより効果的に 町長

橘 統廃合した場合の子供達への効果および配慮は。

町長 集団による競争心や向上心を高め、学力の向上を図り、社会性や協調性など共に切磋琢磨する心を養う。

必要な設備教材、教具などを集中して配備でき、

学習環境をより効果的に充実できる。

また、生活環境を整え、スクールバスの導入など通学環境の整備に配慮する。

橘 統合小学校の行財政面での効果と財源は。

町長 志賀地域の小学校7校の維持管理費や今後

の老朽化に伴う大規模改修などが予測される。

統合小学校の建設も、多額の経費が見込まれるが、子供達にとって最良の教育環境と教育効果の向上を考慮することが第一。

財源は、文部科学省の国庫補助金と起債、電源立地交付金などを財源とする基金を考えている。

橘 検討委員会のメンバー構成は。

町長 まだ決めていない。議会、教育関係者、学識経験者などに意見を聞きたい。

橘 統合小学校の建設予定地はどこか。

町長 志賀地域での高浜小学校の児童数の占める割合が40%を超える。現在の高浜小学校が適当と考えている。

その他の質問

橘 町ができる経済活性化対策・雇用対策は。

町長 雇用安定を一番にハローワークや県のジョブカフェと連携しながら雇用対策を進める。

橘 プレミア商品券に、どのような経済波及効果を期待しているのか。

町長 消費拡大により地元経済の活力となることを期待している。

橘 家庭内暴力に対して、各地域の有識者、警察および関係機関との協力体制を構築することができないか。

町長 関係機関と協力、連携しながら進めたい。児童虐待については、平成18年に町要保護児童対策地域協議会を設立。警察、区長会、人権擁護委員が参加。児童相談所とも協力体制を構築している。



児童数の減少のため、新入生4人となった加茂小入学式。

志賀原子力発電所1号機

運転再開の時期にきているのでは

住民の理解を得ることが大前提 町長



松浦 恒義 議員

これらの取り組みを着実に進めて住民の理解を得ることが大前提である。2号機の安全運転に努め、安全最優先を日々の実践で示すことによって、

町民の更なる信頼を得ていくことが大切。申し入れがあれば、議会と相談しながら、町民の安全・安心を第一に適切に判断したい。

松浦 志賀原発1号機は、本年1月末に2号機同様の耐震裕度向上工事が終了し、現在、国の特別な定期検査を受検している。と聞いている。
1号機の運転再開は今やその時期にきているのではないかと思うが、町長の考えは。
町長 運転再開までのハードルは2つ。臨界事故の再発防止対策や耐震安全性対策など技術面での安全確保と臨界事故で失った信頼を取り戻し、住民の理解を得ること。



志賀原子力発電所全景

新町まちづくり計画
実行にあたり進め方は
社会情勢など考慮 町長

松浦 合併協定書に基づく新町まちづくり計画の進捗率、実行にあたっての組織体制、進め方はどうになっているのか。

町長 合併特例債は合併後10年間の新しい町づくりに資する事業に対して、総額76億8900万円の発行が可能。

進捗状況は、平成17年度から平成20年度で、延べ24事業45億4880万円、進捗率で59・2%となる。

主たる事業は、まちづくり交付金事業やケーブルテレビ整備事業、町道改良舗装事業が挙げられる。

後年度に控える事業は計画後10年近く経過することから、社会情勢の変化や住民ニーズの変化などを考慮しながら、肉付けを行いたい。

行政組織の見直しは、21年度では、担当課および係制の廃止を予定。細分化された係を整理統合した担当制を試行したい。

定型的事務事業のマニュアル化も図り、来客への対応を改善。事務の停滞解消を推進するために、業務マニュアルの策定にも着手する。

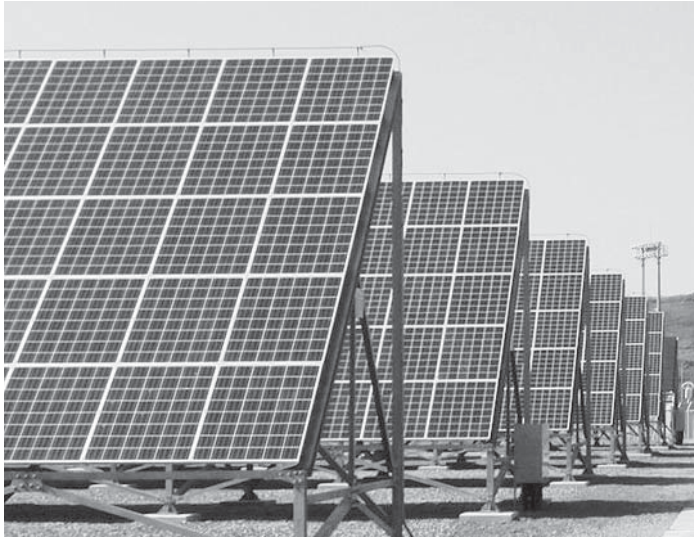
メガソーラー発電 その後の取り組みは

北陸電力に建設を要請したい

町長



辻 武美 議員



低炭素社会の実現に向けた取り組みとして、電力会社などがメガソーラー発電設備の建設などに乗り出している。

辻 12月の議会全員協議会で、「北陸電力の太陽光発電所メガソーラー建設計画に関し、誘致してはどうか。」と町長に尋ねたところ、「今後、北陸電力に開発計画について詳細に聞き、町として

も早急に対応をしたい。」と答弁した。

その後の取り組みは、どのようになっていくか。

町長 北陸電力によると、今回の計画は、北陸三県で、メガ、すなわち1千キロワットの発電所を4カ所開発するもので、現在、社有地を中心に候補地を検討中ということである。

太陽光発電は、発電の際に地球温暖化や酸性雨の原因となる二酸化炭素や硫黄酸化物などを全く発生しない。原子力を基本に、風力やRDFなど低炭素社会実現への取り組みを積極的に行っている当町にとって大変ふさわしい。北陸電力に対して、メガソーラー発電所の建設を要請したい。

来年度予算の予算方針は 6つの事項を柱にした 町長

② 将来に負担を強いる、または義務的経費となる新規事業は、相当する既設事業との振替がない限り認めない。

③ 合併協議による決定事項を遵守し、安易に前倒しや先送りはしない。
④ 地区懇談会の答弁と事業との整合性を図る。

⑤ 行政改革大綱に掲げられている財政の健全化を目標として、集中改革プランの具体的な実施内容・数値目標計画に基づいた事務事業の見直し、経費の節減に取り組む。
⑥ 経常経費に係る一般財源要求額は、総額で対前年度比90%以内。

職員数の超過勤務手当や職員定数削減による人件費の抑制、経常経費10%カットによる事務経費の削減、経常的な補助金の見直しなども行い、必要な予算の確保に努めている。

何よりも住民生活に直結した事業を最優先して予算を編成した。

辻 税の大幅減収が見込まれる中、一般会計では対前年度並みの予算編成である。どのような予算方針で臨んだのか。

町長 次の6つの事項を予算編成の柱とした。

① 投資的経費は、市町村計画に登載された事業以外は特別の理由がない限り認めない。



下池 外巳造 議員

今後の町営住宅のあり方は ストック計画の策定が急務

町長

下池 西山台ニュータウンの事業が好評。それに伴い、雇用促進住宅の取り壊しが23年度に行われると聞いた。

今、まさに今後の町営住宅のあり方を考える時期に来ているのではないかと。

町長 雇用促進住宅の23年度の取り壊しは、雇用・能力開発機構から聞いていないが、入居者は22年11月までに退去しなければならぬ。今後、比較的新しい直海宿舎は、存続を含めて検討したい。当町でも、現在214戸の住宅を管理している。耐用年限を超えた住宅が46戸、10年後には141戸となる。

厳しい財政事情の中、老朽住宅、設備不良住宅に整備効果の高い改善手法を取り込み、費用対効果の高い整備の検討が必要。

適正な管理戸数の推計と戸数の確保を図るためのストック計画の策定が急務と考えている。



設備が新しく入居希望者が多いサンハイム高浜

下池 松ヶ丘住宅、堀松住宅のように、耐用年数に経過年数が近づいた住宅で払い下げを希望する方もいる。

その対応も考える時期に来ていると思うが。

町長 払い下げの希望者がいることは承知している。国土交通省では耐用

年数に達しても公営住宅法で定めるとおり、原則払い下げはしない。

現在の町営住宅を老朽化住宅改善、政策空き家による用途廃止、建て替えなどの手法で住宅施策を講じ、住民の生活基盤の確立を考えたい。

公共機関のIP電話で 住民サービスを

状況を見ながら対応 町長

下池 文部科学省の学校への携帯電話の持ち込み禁止の通知に応じ、町は町内の小中学生に携帯電話の持ち込み禁止を発したと聞いている。

学校および図書館等の公共機関に町のIP電話を設置して、児童や町民に住民サービスを果たすかどうか。

町長 学校などで子供達に使用できる電話は、施設側の工事が完了しているため、IP専用機器となるが、いつでも設置が可能。

ただし、通話できる相手は、IPに加入している町内の電話機で、携帯電話や町外には繋がらない。

利用頻度や設置効果など施設ごとの状況を見ながら対応したい。

その他の質問

下池 県では「県新型インフルエンザ対策行動計画」の本格的な見直しに入る。当町も万一を想定した対策を早急に示すべきだ。

町長 県では3月2日に県感染症予防連絡協議会を開催した。

今後、県から詳細な指導があるものと思っている。それに従って行動計画の策定を進めていきたい。



寺岡 真貴子 議員

厳しい経済状況 町長の認識は

製造業全体は非常に厳しい 町長

寺岡 現在の経済状況に対する認識と今後の町財政への影響は。

町長 当町の製造業全体は非常に厳しい。法人・個人町民税で約1億5千万円の減収と試算。

寺岡 企業誘致の実績は。企業誘致への一層の努力と同時に、立地企業へ雇用確保を申し入れずべきだが、企業誘致対策室の今後の方針は。

町長 合併後2社が操業。現在2社が建設中、交渉中が1社。

企業誘致と立地企業への対応は、県・中小基盤整備機構と連携しながら進めている。

企業誘致対策室は、コミュニティ施設や工場排水施設の管理、転入者の住宅斡旋、奨励金による固定資産税軽減、操業時の雇用確保、定期的な企業訪問等を行っている。

寺岡 工場閉鎖する企業には、従業員に誠実に対応するよう要望し、また本町の工場を再開してい

ただけるようトップセー
ルスを続けるべきだ。

町長 2月に県と武蔵精密工業本社を訪ね、工場の存続、従業員に対する誠意ある処遇、閉鎖後の工場の適切な管理を要望した。今後も訪問活動をしたい。

寺岡 ふるさと雇用再生事業の緑地活用事業に関して、間伐材等を活用した開発商品の購入協力や間伐作業に協力した企業を町の森サポーター企業として登録広報すること

町長 町内企業と可能性について研究協議を進め、町のイメージアップに繋がるものから検討対応したい。

寺岡 いかにかに一次産業を
活気づけられるかが、中
長期的な戦略には不可欠
だ。

町独自として、一次産

業に対し力を入れている
のは何だと考えるか。

町長 志賀地区については、土地改良を進めながら後継者や担い手育成に取り組んでいる。

地域交流センター 建設は中止すべきだ

施設集約で維持管理費 を削減 町長

寺岡 経済状況と町財政の先行き、小学校校舎など空き施設の状態を考えると、2階の合同庁舎部

分や地域交流センターの180人収容ホールは建設を中止すべきだ。

町長 消防団員の研修訓練施設の他、災害時の福祉避難所としても活用し、防災知識を普及啓発する施設としたい。

通常は一般解放し、各種会合や憩いの場、ニュータウンのコミュニティ施設として活用いただき、

21年度は富来地区でも
酒見、稲敷で大規模な土
地改良事業が測量に入る。

基盤整備を進めながら振興発展に努めたい。

寺岡 合同庁舎・地域
交流センター整備は、
4億2千万円予算計上さ
れているが、防災備蓄倉
庫のみならず、その整備費
は。

町長 おおよそ3千万円
である。

寺岡 道路橋梁やその他
現有施設の維持補修、改
良・長寿命化、公共下水
道工事の前倒しなど中長
期的な立場から必要な投
資は多々ある。大型の施
設整備よりも中小規模の
建設業者にも受注機会が
行き渡るような小口案件
を多数発注した方が良い
のではないか。

町長 国・県の補助対象
工事の前倒し発注は現実
的には難しい。施工箇所
に併せて工事の分離発注
をしている。町の単独工
事は、計画的に維持補修
等を実施し、新年度は4
月中の前倒し工事発注を
検討している。

寺岡 今後の町有空き施
設の状況についての認識
は。

町長 保育所や小学校の
統合により、空き施設が
生じることは十分認識し
ている。
避難施設としての役割
地域のコミュニティづく
りのための活用等を念頭

プルサーマルと低炭素社会への 取り組みを確認

当議会では、町の原子力及び環境施策の参考とするため、2月22日から24日の期間、福岡県北九州市にある電源開発(株)若松総合事務所の響灘太陽光発電所と九州電力(株)玄海原子力発電所の視察を行った。

電源開発(株) 響灘太陽光発電所

若松総合事務所のある響灘埋立地では、石炭灰を土地造成材として有効

利用しており、造成された広大な土地に響灘太陽光発電所が昨年2月末に完成した。

設備出力は、1千キロワット(1メガワット)。太陽電池の種類は多結晶シリコンで、約3ヘクタールの敷地に太陽電池パネルが40枚設置されている。パネル1枚あたり1・29m×0・99mの太陽電池モジュールが140個使用され、計5600個のモジュールが使われている。



発電効率など質問する議員。後にずらっと並んでいるのが響灘太陽光発電所。

新エネルギー・産業技術総合開発機構との共同試験プロジェクトで、将来の事業化検討に資するためのデータ収集のため、現在は発電した電気は事業所内での利用となっている。

年間の発電量は約100万キロワットと想定しており、その分のCO2発生抑制効果約410トンを見込んでいる。

当日は、同じ埋立地内で電源開発がカゴメ(株)と共同で生鮮トマト生産事業を実施している響灘菜園も視察した。

九州電力(株) 玄海原子力発電所

日本発のプルサーマル実施に取り組む玄海町の九州電力玄海発電所を視察した。

当日は、事前了解までの理解活動の取り組みについて発電所長などから説明を受けた後、中央制御室、構内各施設などを見学した。



原子力発電所長からプルサーマル事前了解までの理解活動の取り組みについて説明を受ける議員。

平成16年5月、九州電力から佐賀県と玄海町に、玄海3号機プルサーマル計画について、事前了解願いが提出された。

立地町である玄海町では、慎重に議論が進められ、平成18年2月、町長から知事に事前了解したという意向が示された。同年3月には、町と県で協議を行い、事前了解を行うことを決定。現在、日本初の実施に向けて準備を進めている。

資源の乏しい我が国において、エネルギーを長期的に安定して確保していくためには、原子燃料サイクルの確立は不可欠である。

本町においても、いずれはプルサーマル計画に対し、検討・対応しなければならぬときがくると思われる。その時は今回の視察を参考としたい。

議会広報特別委員会

親しまれる広報づくりをめざして



高千穂町議会で編集方針、レイアウトの研修を行う委員

2月4日、宮崎県高千穂町議会を訪ね、議会広報編集委員会の方に視察研修をさせていただいた。「議会だよりたかちほ」は、平成20年度の町村議会報全国コンクールまで6年連続で優秀賞、入賞と全国でもトップレベルの議会だよりである。議会だよりの編集体制・方針、レイアウトなどについて研修を行った。

平成13年、「高千穂町議会報発行に関する条例」の制定により、議会報編集委員会が常任委員である。この条例で、議会広報の発行を議会の責任・義務とした。また、編集方針、記載事項などを明確にするこ

とで公平な記事の掲載、今まで不明確な位置づけにあった編集委員会を公務として明確にした。

条例に基づき、議長が会議にはかつて6名を選任。慣例として委員は各常任委員長3名と議長推薦の3名としている。この議会だよりの優れている点は、見出しの使い方がうまいところにある。方言を使った大きな見出しは大変目を引くし、レイアウトも大変優れている。読者にとって読みやすい紙面づくりが成功している。

編集委員が、かなりの時間をかけて編集しており、文章の作成、写真の撮影、レイアウトすべてにこだわって作成していた。委員は、全国または県の議長会主催の研修会に参加するほか、新聞社へも見出し、文章作成についての研修も行っている。

今回の視察の成果を活かし、今後さらにより良い議会だよりの作成に委員会をあげて取り組みたいと思う。

議会だよりしか

全国コンクールで

奨励賞

昨年4月に発行の「議会だよりしか」11号が、第23回町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞しました。



旧志賀町では、入選、奨励賞の受賞歴がありますが、合併後の作品としては初めての受賞です。



委員会で校正作業をする広報委員。

あの質問のゆくえ

今回、「あの質問のゆくえ」として、一般質問の提言などが町政にどのように反映されているのかお知らせします。

質問

グループ制の導入を

平成19年6月定例会

1つの課、係に負担が集中しているのではないかと。グループ制導入を急ぎ、職員配置が適正か確認、見直しすべきだ。

町長答弁

集中改革プランに沿って検討

グループ制は集中改革プランに沿って検討している。今後の業務の状況を見ながら、必要に応じて、職員の配置や組織の改編などを検討していく。

どうなった

4月から担当制を試行します

細分化された係を整理統合して担当を設置。課の受け持つ事務を最も効率的に行えるように分類し各担当に振り分けます。

担当制では、期間集中的な業務がある場合、課長の裁量・権限で参事以下の職員を異動させたりできますが、現制度では、係長を異動させたり、一係に複数の係長を配置することは原則できませんでした。

質問

定住促進住宅整備事業奨励金制度で地区限定は見直すべきだ

平成20年6月定例会

奨励金制度を定住促進住宅地造成事業で開発された地域に限定すべきでない。中山間地や限界集落にも定住を促すべきだ。

宅地購入、住宅新築、中古住宅、空き家の購入、改修に対する助成金など多面的に取り組むべきだ。

町長答弁

全町対象は好ましくない

まちづくり交付金事業の趣旨の中で、事業効果および販売促進のために策定したもの。

全町エリアとすることは好ましくないが、人口流出対策や地域コミュニティのあり方は重要課題。別の角度から対応したい。

どうなった

4月から転入者に定住促進 住まいづくり奨励金を交付します

志賀町に転入し定住のための住宅を取得する人に奨励金を交付します。

対象者は新規転入者と転出期間が5年以上の再転入者で定住の意思を持って住宅を購入しようとする人。対象住宅は志賀町の建築業者が新築、改築などをした住宅です。

新築は経費の2・5%か50万円、中古住宅は経費の3分の1か30万円のいずれか低い額。

富来ユニホッククラブ

「ユニホック」は、グラウンドホッケーに似たインドアのホッケー競技です。ホッケー競技ではありますが、タックルなどの危険なプレーは禁止ですので、老若男女を問わないニュースポーツであり、全国では5万人以上の競技人口がある競技性も高いスポーツです。

目標は常に日本一の強豪クラブ

今回は、富来地域の小学生から大人が所属し、全国的に強豪クラブで知られる「富来ユニホッククラブ」の練習会場におじゃまして、代表者の山本悟さん（里本江）にお話を聞きました。



山本 悟さん
(里本江)

◆このグループは、いつ頃結成しましたか。きっかけは。

◇10年前です。旧富来町がスポレク石川2000のユニホック競技の会場になり、その2年前に結成されました。

現在、小学生から大人まで60人以上が所属しています。



練習しているところをお邪魔して（富来勤労者体育センター）

◆練習はどれくらい。
◇基本的に週に木曜、土曜日の2回。全国大会があるときは、火曜日も入れて週3回です。

◆2月の全国大会で中学生の部で優勝するなど強豪チームとして知られていますか。
◇子供達のやる気ですね。ここに何をしに来て

いるかと聞くと、「日本一になるため」と言う。遊びではなく、本当に勝ちたいという気持ちの子しかいません。

◆今後の目標をお聞かせください。
◇当然、日本一。全国大会は年2回ありますが、小学生は昨年2度とも逃しています。今年は優勝を取り戻すこと。

中学生は、3連覇した後、2度負け、今回優勝。



左から礪 龍太郎さんと津田佑樹くん

礪くん、津田くん クラブから二人が日本代表に

5月にフィンランドで開催されるU19フロアボール世界大会の日本代表に、クラブから富来高校2年の礪龍太郎さんと津田佑樹くんが選拔されました。

世界大会での活躍を期待しています。



4連覇というところはないのでそれを目標にしています。

大人の部では、昨年女子が日本一になったので、男子もそれに続くことが目標です。

第20回志賀町を描く美術展 第20回記念賞の作者に聞く!!



作品名「巖門の椿原生林」



中田 康雄 さん
(金沢市)

早春、小春日和、画の好きな仲間と椿原生林(巖門)取材の機会がありました。椿原生林は海岸近くの丘にあり、私達を待ち受けていました。紅色の花、艶々した緑葉の流れを感性でとらえ、全体像として椿原生林をまとめてみました。

芸術文化の振興を願い、志賀町の美しい自然や生活、産業や夢などを描いていただく公募展を毎年開催しています。昨年(2020年)の11月には第20回の審査が行われ、次の方(中田康雄さん)が、第20回記念賞に選ばれましたので、作者の感想を交え、ご紹介させていただきます。

ぼくの声・私の声

4月6日、町内の各小学校で入学式が行われ、期待に胸を膨らませた新1年生が、学校生活をスタートさせました。今回、加茂小学校に入学した4名の新1年生に①小学校で楽しいこと②将来の夢についてインタビューしました。



いまがわ りょう 龍くん

①お兄さん、お姉さんたちとする鬼ごっこが楽しい。
②サッカー選手になりたい。



さかい りお 梨緒さん

①登り棒に登ること。みんなとする鬼ごっこ。
②動物が好きなのでペットシヨップ屋さん。



しんめい あや 新明 愛綾さん

①みんなと遊ぶ鬼ごっこが楽しい。
②お花屋さんになりたい。



みずかみ ちづる 水上 千鶴さん

①登り棒で遊ぶこと。お絵書きが好き。
②デザイナーになりたい。

傍聴に

おこしください

議会傍聴は、議会だよりでは伝えきれない議会の様子を見聞きできます。傍聴の際は、議会事務局で住所・氏名などを記入します。団体で希望される場合は事務局までご連絡ください。



議会広報特別委員会

発行責任者	戸坂忠寸計
議長	橘 照茂
委員長	田中 正文
副委員長	下池外巳造
委員	越後 敏明
	富澤 軒康
	櫻井 俊一